

生物多様性条約(CBD)、名古屋議定書(NP、未発効)、食糧農業植物遺伝資源条約(ITPGR、未加入)、ワシントン条約など、生物材料を用いた研究に係わる多くの国際条約がある。大学においても研究に際しては、これらについて十分留意する必要がある。

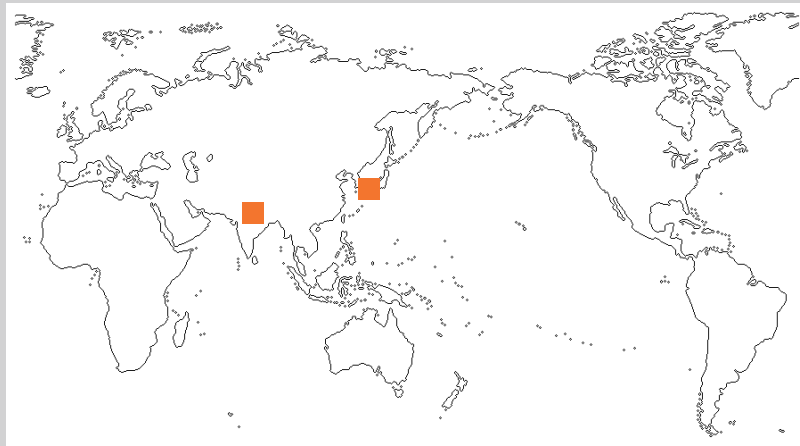
今回は、生物多様性条約、名古屋議定書を中心に、内容と現状、行政の方針、生物資源を用いた共同研究をする際の手続き(PICの取得、MATの締結等)と必要性について紹介する。また、生物多様性条約に従って実際に行っているネパールの研究プロジェクトについて発表し、今後の大学研究推進のために関連情報を提供することを目的とする。



**MMC**  
Material Management Center  
有体物管理センター

## 第4回 有体物管理センター シンポジウム

# こうする！生物多様性条約と国際共同研究 九大・ネパールプロジェクトを事例として



### [Program]

- 12:30-13:00 受付
- 13:00-13:10 開会の挨拶 農学研究院長 吉村 淳

### 第一部 ネパールプロジェクト

- 13:15-13:45 **NARC and Mushroom Research in Nepal**  
Nepal Agricultural Research Council (NARC) Executive Director Dr. Dil Bahadur Gurung
- 13:45-14:15 **The current situation of the mushroom production and related industries in Nepal**  
Nepal Chamber of Commerce (NCC)  
Executive member, Honorary Representative in Tokyo Mr. Kapil Dev Thapa
- 14:15-14:35 **有体物管理センターの活動とネパールプロジェクト紹介**  
九州大学有体物管理センター 深見克哉
- 14:35-15:20 **ネパールプロジェクト研究成果報告**
- 14:35-14:50 農学研究院 土居克実先生
- 14:50-15:05 農学研究院 清水邦義先生
- 15:05-15:20 農学研究院 片倉喜範先生
- 15:20-15:30 (休憩)

### 第二部 生物多様性条約・名古屋議定書の大学における問題点

- 15:30-16:00 **CBDの基礎、COP11を巡る状況**  
一般財団法人バイオインダストリー協会 炭田精造氏
- 16:00-16:20 **名古屋議定書国内措置の検討状況**  
環境省自然環境局自然環境計画課課長補佐 中澤圭一氏
- 16:20-16:40 **大学等研究機関における名古屋議定書の対応に係る留意点**  
文部科学省研究振興局 ライフサイエンス課 ゲノム研究企画調整官 古田裕志氏
- 16:45-17:05 **総合質疑**
- 17:05-17:10 **閉会の挨拶** 有体物管理センター長 久原 哲

2013. 2. 1 [ Fri ]  
13:00 - 17:10

開催場所：国際ホール  
(九州大学箱崎地区)  
入場無料

[主催] 有体物管理センター  
一般財団法人バイオインダストリー協会

[お問合せ先] 九州大学 有体物管理センター  
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
産学連携棟II 創造パビリオン2階

[TEL] 092-642-7317  
[Email] mmc@mmc.kyushu-u.ac.jp  
[URL] http://mmc-u.jp/

